

第二次越前町健康増進計画中間評価（平成 29 年度）

【評価の基準】

- A・・・達成（策定時の目標値を既に達成）
- B・・・改善（目標には達成していないが策定時より改善）
- C・・・横ばい・悪化（策定時より変化なしまたは悪化）
- D・・・判定不可

1 主要な生活習慣病の発症予防と重症化予防

赤字：目標値変更（当初）

分野	項目	策定時 (25 年度)	現状 (28 年度)	評価	目標 (34 年度)	評価及び今後の対策
がん	がん検診の受診率の向上					【評価】 ・肺がん、大腸がん検診の受診率が低下している。その他のがんは増加しているものの、目標に達するためには受診率向上のための取り組みを積極的に進める必要がある。 ・精密検査受診率については平成 25 年度より上昇している。今後もせっかく受けていただいた検診なので、がんの発見が遅れないよう精検受診を勧奨していく。 【対策】 ・広報や地域の会合、ポスター掲示等での周知 ・検診案内通知を、手書きスタイル等見てもらいやすい工夫をする ・年度末の未受診者への再勧奨 ・申込者に渡している大腸がん検診キットについて、特定健診申込者に容器を郵送 ・精検未受診者への受診勧奨通知及び電話での勧奨
	胃がん	13.8%	18.1%	B	30%	
	肺がん	24.9%	21.7%	C	40%	
	大腸がん	24.0%	18.7%	C	40%	
	子宮頸がん	28.8%	32.7%	B	40%	
	乳がん	25.1%	28.4%	B	40%	
	がん検診の精密検査受診率の向上					
	胃がん	52%	74.1% (H27)	A	75% (70%)	
	肺がん	67%	81.8% (H27)	B	90%	
	大腸がん	63%	75.6% (H27)	B	90%	
子宮頸がん	77%	93.3% (H27)	A	100% (90%)		
乳がん	97%	92.7% (H27)	B	100% (維持)		
循環器疾患	脳血管疾患・虚血性心疾患の死亡率の減少（人口 10 万対）					【評価】 ・平成 28 年度は脳血管疾患による死亡率が増加し、虚血性心疾患についても大きな減少はみられていない。また、Ⅱ度高血圧者（最高血圧 160～179 または最低血圧 100～109）以上の割合も増加していることより、高血圧対策をより強化する必要がある。 ・保健指導実施率は目標に達しているが、特定健診受診率は上昇しているものの今後も受診率向上への取組が必要な状態である。 【対策】 ・高血圧が血管に与える影響や、日頃の自分の血圧の把握、服薬の継続、減塩の必要性等を知っていただく取組の強化 ・医療機関にかかっているために健診を受診しない人が多いため、町内の医療機関に患者さんへの個別健診を勧めていただくよう依頼していく。
	脳血管疾患	126.4	140.0 (H27)	C	減少	
	虚血性心疾患	189.7	186.7 (H27)	B	減少	
	高血圧の改善					
	Ⅱ度高血圧者以上の割合	5.7%	6.6%	C	減少	
	脂質異常症の減少					
	総コレステロール 240mg/dl 以上の者の割合	13.5%	15.8%	C	減少	
	LDL コレステロール 160mg/dl 以上の者の割合	12.6%	11.7%	A	減少	
	メタリックシンドローム該当者及び予備群の減少	29.8%	22.5% (H27)	A	25%減少	
	特定健診受診率の向上	36.5%	38.9% (H27)	B	50%	
特定保健指導実施率の向上	44.9%	62.6% (H27)	A	60%		
糖尿病	糖尿病治療継続者の割合の増加	58.2%	63.8%	B	75%	【評価】 ・特定健診受診者の血糖コントロール不良者数は、平成 25 年度は 12 人で治療中の人 9 人、平成 28 年度は 14 人で治療中の人 11 人であった。特定健診で発見された血糖コントロール不良者が合併症を併発することのないようフォローしなくてはならない。 【対策】 ・健診で発見されたコントロール不良者については、確実に治療につなぐとともに、医療機関と連携して食事等の生活面の助言も含めた継続的な支援を行い、脳血管疾患や腎臓障害等の合併症予防に取組む。
	血糖コントロール不良者（HbA1c8.0%以上）の割合の減少	0.8%	1.0%	C	減少	
	糖尿病有病者の割合の減少	7.8%	8.5%	C	減少	

2 社会生活を営むために必要な機能の維持及び向上

分野	項目	基準値 (25年度)	現状 (28年度)	評価	目標 (34年度)	評価及び今後の対策
こころ	自殺者死亡率の減少（人口10万対）	27.1	9.3	A	減少	【評価】 ・自殺者は、平成25年度が6人、平成28年度が2人と減少している。このまま減少が続くよう啓発活動や心の相談を継続していく。
次世代	健康な生活習慣を有する子どもの割合の増加					【評価】 ・平成28年度は早寝早起きをする子どもの割合が増えている。赤ちゃん訪問や健診時等に生活リズムを整える必要性について説明してきた効果が現れていると考えられる。 ・小学5年生の肥満の割合も減少している。
	1.6ヶ月児早起き(7時前)の割合	50.3%	64.3%	A	増加	
	3歳児早起き(7時前)の割合	44.9%	57.5%	A	増加	
	1.6ヶ月児早寝(21時前)の割合	16.8%	38.7%	A	増加	
	3歳児早寝(21時前)の割合	8.0%	20.5%	A	増加	
	低出生体重児の割合の減少	8.9%	8.6%	A	減少	
	肥満傾向にある子どもの割合の減少					
	小学校5年生男子	8.4%	5.3%	A	減少	
小学校5年生女子	11.9%	5.7%	A	減少		
高齢者	介護保険認定者の増加の抑制 (第1号被保険者認定率)	17.6%	17.4%	A	減少	【評価】 ・認定者の割合は横ばい状態である。今後も介護予防生活習慣病予防に取り組んでいく。

3 生活習慣及び社会環境の改善

分野	項目	基準値 (25年度)	現状 (28年度)	評価	目標 (34年度)	評価及び今後の対策
栄養・食生活	適正体重を維持している者の増加					【評価】 ・20代女性のやせの割合が大幅に減少したが、母数が50人と少ないため、振れ幅が大きくなっていると思われる。 ・運動習慣は平成25年度の数値はなく、目標値も設定しなかったが、国の目標値に比べかなり低く、運動の普及や運動をする機会や環境の整備、仲間づくり等が必要と考えられる。 ・肥満者の割合の低下が少なく、栄養や運動についての啓発活動が必要と考えられる。 【対策】 ・栄養や運動について、広報活動や関係部署との連携や広く町民への働きかけ、スローガン、健康づくり事業の実施や仲間づくり等健康なまちづくりを目指した取組を考えていく。
	20歳代女性のやせの者の割合の減少(BMI18.5未満)	24.3%	9.6%	A	20%	
	男性の肥満者の割合の減少(20～69歳)	32.9%	32.6%	B	28%	
	女性の肥満者の割合の減少(40～69歳)	25.5%	23.5%	B	19%	
	BMI20以下の高齢者の割合の減少	13.2%	15.4%	C	減少	
身体活動	運動習慣者の割合の増加(64歳以下)	—				【評価】 ・平成25年度の数値や目標値の設定はなく、国の目標数値とはアルコール量が違うため、数値の評価は難しいが、アルコール健康障害対策基本法が平成26年に施行されており、アルコール対策についても取組む必要がある。 【対策】 ・まずは、アルコールの害や適正飲酒についての啓蒙活動を行う。
	男性		13.1%	D	18% (国36%)	
	女性		16.7%	D	20% (国33%)	
	運動習慣者の割合の増加(65歳以上)	—				
	男性		18.9%	D	20% (国58%)	
	女性		24.5%	D	48% (国48%)	
飲酒	毎日1合以上を飲酒している者の割合の減少	—				【評価】 ・平成25年度の数値や目標値の設定はなく、国の目標数値とはアルコール量が違うため、数値の評価は難しいが、アルコール健康障害対策基本法が平成26年に施行されており、アルコール対策についても取組む必要がある。 【対策】 ・まずは、アルコールの害や適正飲酒についての啓蒙活動を行う。
	男性		24.1%	D	20%	
	女性		5.1%	D	5%	

喫煙	たばこを吸う人の割合の減少					【評価】 ・妊娠届出時の喫煙率はやや減少しているものの、全体的に喫煙者の割合は減少していない。受動喫煙防止法が検討され、喫煙による健康被害がいたるところで取り上げられており、公共施設での受動喫煙対策以外にも広く町民に喫煙対策について啓発していく必要がある。 【対策】 ・禁煙の意思がある人への禁煙外来の紹介や、受動喫煙の健康被害、受動喫煙防止について、広報や健康講座等で広く普及していく。
	男性	27.0%	28.5%	C	減少	
	女性	2.9%	4.3%	C	減少	
	妊婦	11.1%	10.4%	A	減少	
歯科	3歳児でう蝕がない者の割合の増加	92.4%	93.2%	A	増加	【評価】 ・3歳児のう蝕のない割合はわずかだが増加しており、1歳6ヶ月時健診や2歳児歯科健診等を通して、今後も虫歯予防に取り組むと共に、保育所や学校とも連携して取り組んでいく。

4 健康を支え、守るための社会環境の整備

越前町健康増進計画の基本目標「健康寿命の延伸と健康格差の縮小」を達成させる基本的方向のひとつに「健康を支え、守るための社会環境の整備」があげられており、「企業や関係機関・団体などとの連携など、町民の健康づくりの機運を高め、社会全体で健康づくりを推進する環境整備」に取り組むとなっている。

平成29年度より、わがまち健康づくり事業として「健康づくりポイント事業」をはじめ、「健康づくり出前講座」「地域職域連携」等の取組を行い、関係団体や町内事業所、庁内関係部門等との協働による町民を巻き込んだ健康なまちづくりを推進していく。

1 健康づくりポイント事業

(現状) カード配布数 約1,300枚 ポイント交換者数24人(10.6現在)

(課題) ・住民への周知、カード配布方法の検討 ・参加しやすい選択項目(健康講座)の検討、庁内関係部門との連携
・実施期間、ポイント交換期限等の見直し

2 健康づくり出前講座

(現状) 申込み件数 17件(区長・保健推進員・食生活改善推進員・婦人会・事業所等)

(課題) ・周知とメニューの工夫 ・地域、団体ぐるみの健康づくり活動への展開

3 健康づくりの地域職域連携

(現状) 「越前町しごとの創生懇談会」にて、健康づくりの地域職域連携について提案。事業所に個別訪問し従業員の健康に関する聴き取り、町の保健事業とのタイアップの提案。

(課題) ・実態、ニーズをつかみ、方策を設定 ・事業所、関係機関、庁内関係部門等との課題の共有、協働による健康づくり
・互いに利益をもたらす取組